

福山北警察署管内防犯連合会は、平成20年に発足し、福山市北部21小学校区の自治会（町内会）と神石高原町4学区自治会（町内会）など25の地域から選任された地域安全推進員等230名で構成され、防犯活動に携わっております。

当防犯連合会は「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動第5期（令和3年～令和7年）アクションプランに基づき、警察をはじめ、ボランティア、事業者、行政との連携はもとより、25地域の自治会（町内会）連合会と強く連携し、地域住民の防犯意識の醸成普及啓発活動の推進、特殊詐欺被害防止広報、当管内で発生の多い「自転車盗」等、身近な犯罪防止対策、地域防犯ボランティアの育成、青少年の非行防止と健全育成活動、暴力追放、薬物の根絶活動を事業計画とし、活動しています。

各地区では、子供、女性、高齢者等の被害防

止、地域住民が不安に感じる犯罪の抑止のため、登下校の時間帯における見守り活動や青色防犯パトロール車の運行、年金支給日における特殊詐欺被害防止キャンペーン、各学区のイベントにおける広報活動など、地道に活動を推進しています。

地区防連会長エッセー



安全で安心な住みよい社会の実現を目指して

福山北警察署管内防犯連合会

会長 河上 正次

しかしながら、当管内の今年上半期の刑法犯認知件数は、昨年同時期と比べ76件の増加で、特に自転車盗が多発している状況です。

また、高齢者を狙った特殊詐欺被害が依然として後を絶たず、社

会情勢を反映した新たな形態の犯罪が発生しており、大変厳しい状況ではありますが、福山北警察署管内13万5千人の安全で安心な住みよい社会の実現を目指して、引き続き地域安全活動の充実に取り組んでまいります。

皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

栗生地区の安全・安心のために

私が代表を務める「栗ティ・ポリス」は、少子高齢化がすすみ、地域の繋がりが希薄になっていく地域情勢に危機感を覚え、地域共生社会の実現のため、平成27年に栗生地区の有志によって設立されました。

現在では、町内のさまざまな団体、組織と連携を図り、約260名の会員で、登下校時の見守り活動、いきいきサロン開催や高齢者世帯への訪問活動など持続可能な活動を行っています。

また、当会ではオリジナルの「栗ティ・ポリスステッカー」を制作し、会員の車に貼ってもらっています。

このステッカーを見た子供たちや高齢者に、地域との連携や安心を感じてもらえばとの願いを込めて作ったも

のです。

こうした地道な活動が実を結び、現在では地域住民から「安心して生活できる」「今後も地域のために活動を継続してほしい」などの声もいただけ、活動の励みとなっています。

今後も「地域の安全は地域の力で」をモットーに、地域一体となった活動を行っていきたいと思います。

防犯ボランティア
団体紹介 70
がんばっています



代表 德毛 實明
(府中市)

